

公募研究 A02 (課題番号: 06208204・07205205)

清代後期における海関制度と中国沿海世界の考察

研究代表者: 岡本隆司・宮崎大学・教育学部・講師

1. 研究項目: A02 環東シナ海地域間交流史
2. 研究課題名: 清代後期における海関制度と中国沿海世界の考察 (課題番号: 06208204・07205205)
3. 研究期間: 平成6・7年度 (1994~1995)
4. 交付研究費: 平成6年度 1,100 千円
平成7年度 1,100 千円 合計 2,200 千円
5. 研究組織 (氏名: 所属機関・部局・職)
(研究代表者) 岡本隆司: 宮崎大学・教育学部・講師

6. 研究目的

明清時代の海外貿易については、中国史のみならず日本史の領域からも、膨大な研究が蓄積されてきた。その動きはもちろん現在も進行中であるが、往々にして中国とある特定の相手国との二国間の貿易内容を、個別に追求してきた傾向がみうけられる。それによって個々の貿易関係は、具体的に解明されつつあるものの、それらが構成した中国の沿海交易の全体像は、十分な把握に到達したとはいえない。その一因としては、たとえば日本・琉球などの側では、それぞれの国の史料が利用できることもあって、研究が相当にすすんでいるのに対し、中国の側の研究が史料の発掘や蓄積もふくめ、たおおくれている点あげられる。それはまた、中国の側からみようとすれば、いきおい個別の国・地域にとどまらず、対外関係を総体として検討する、という膨大な作業が要求されるからである。そうした作業は、なお緒に就いたばかりであるといつて過言でなく、いまのところアプローチの足がかりをどこにみいだすかが、検討されている段階にある。もっとも史料に頻出する冊封、朝貢、回賜など、公的な朝貢関係の側面に関しては、かなりの検討がすすめられ、一定の枠組・構想も提起されてきた。けれどもその背後にあったはずの民間交易については、そうした枠組・構想を裏づける、もしくは批判する実証的な研究は、なおかならずしも十分には行なわれていない。

筆者は以上のような認識のもと、中国各港における貿易取引の具体的な内容から、明清時代どのような体制のもとで、東シナ海の民間交易が行なわれていたか、を解明することを課題に掲げた。なかんずく注目したのは、そこでの清代の中国側の貿易管理体制である。これを手がかりとして、重点領

域研究「沖縄の歴史情報研究」の主たる研究対象たる琉球を中心に、中国の対外関係のありかたを全体的にえがきたそうというのが、本研究でめざす目的となる。

7. 研究経過と研究成果の概要

清代中国において海外貿易の管理にあたったのが、いずれの港も海関という機関であったのは、周知のとおりである。筆者はその管理のしくみをときあかすため、まず史料も研究も比較的豊富な清末の広東を題材として、研究に着手した。それを通じて得られた成果が、岡本隆司「清末粵海関の展開 - 広州における洋関設立の意味 - 」(『史林』第77巻第6号、p.1~p.31、平成6年11月)である。ここで明らかになったのは、海外貿易の管理においては、貿易港の海関に属した仲買商人の役割がきわめて大きい、という事実である。この研究成果から、かれらの存在が、官庁レベルでの体制と多様な交易とを、矛盾なく接続する媒介項となっており、清代中国の民間交易を秩序づけたものと考えにいたった。そこからさらに浮かびあがった問題は、まずそうしたしくみがどのようにして形成されたか、その運用の実態はいかなるものであったか、そしてそれが19世紀、西洋資本主義の進出によってどのように変容してゆくのか、という三点にまとめられる。それぞれについて研究にとりくみ、えられた具体的な所見は、以下の研究成果で論じるところである(なお研究期間中の筆者の研究成果のリストは、第1部13.03の研究業績一覧に収録されているので、ここではその主要なものだけとりあげる)。

岡本隆司「従市舶司到海関 - 明清易姓與海外貿易制度之演變 - 」(中國海関史第三次國際學術研討會(香港中文大學)1995年5月3日~6日)

岡本隆司「広東洋行考 - 洋行に関する新旧史料を通じて - 」(『東洋史研究』第54巻第2号、p.165~p.201、平成7年9月)

岡本隆司「開港と朝貢のあいだ - 五港開港時代の福州を中心に - 」(『宮崎大学教育学部紀要(社会科学)』第81号、p.1~p.24、平成8年9月)

本研究は重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」の公募研究として、その一部をなすものであり、そこでの目的の一つが史料の収集・整理、およびその情報化であったことから、上のような研究成果を公にするかたわら、そこでの筆者の見解をかたちづかったところの主要史料の情報化にも従事し、これを史料本文のテキスト・データベースとして公開することにした。詳細は、本報告書「35.09 テキスト・データベース『清代後期の海関制度と中国沿海世界』の作成」の項を参照のこと。